

うちのママはふしぎだ

小^こ林^{はやし}司^{つかさ}

うちのママのあさは、ふしぎだ。まほうのことばではじまる。

「頭いたくない？おなかいたくない？今日もげんき？」

ハグをしながら聞いてくれる。

うちのママのせんたくは、ふしぎだ。せんたくもののTシャツを手にもつと、

「ララララー」

とうたいながらおどっている。おとうとと二人で、なにをしてい
るんだろうとみつめている。

うちのママとの下校は、ふしぎだ。ママはまい日むかえにきて
くれる。みちのとちゅうからとつせんネギをふつて、

「ハロー。」

とあらわれるときもあれば、友だちのわの中にママがいるとき
もある。そして、ママは友だちとかえつていて、あれ、ぼくをむか
えにきてくれたんじゃないの？と思う。ぼくのママは友だちに
も人気だ。

うちのママのよるは、ふしぎだ。ねないといけななのに、ママが
おもしろい絵本をえらんでへんな読み方をするので、わらいが
とまらずどんどん目がさめてしまう。どうしたらいいかまよっ
ているうちにねてしまう。

うちのママのおうえんは、ふしぎだ。マラソン大会のあさ、

「ピリになつたらいいに入れないよ。」

と言われて、はしるときはグラウンドの近くでにおう立ちして
にらみつけてくる。いえに入れなかつたらどうしようとひっし
にはしつたら、今までにないようなスピードがでた。つかれたけ
ど、れんしゅうより五十人くらいじゅんいが上がった。これでい
えに入れるとゴールへとびこんだ。すると、ママはあさとはべつ
人のようなニコニコがおだった。

うちのママのおこり方は、ふしぎだ。はかたべんで、ぱーつと
話してくるからなにを言っているかほとんど分からない。でも、
どういうことをするとおこるかとは分かっている。人にめいわく
をかけたときと、やるべきことをやらないときだ。でも、おこっ
た数分後には、ケロリとしている。おこったこともわすれている
らしい。たいへんだ。もっとたいへんなのは、ほめられるときだ。
ハグしてかみの毛をくしゃくしゃにしなからはずかしいほどほ
めてくる。そろそろやめてほしい。

うちのかくくんは、ふしぎだ。おもしろければなんでもよし。
友だちのママとはぜんぜんちがう。おこられるとこわいけど、
こんなおもしろいママでよかった。ぼくのまい日をたのしくし
てくれてありがとう。